

# 暮らしと世界をつなぐ7-7ワークショップ<sup>®</sup>

## ～今日からできるSDGsアクション!～

このワークショップは「自分の暮らしと世界の課題のつながり」を考えることで、これからの未来のために何ができるのかをみつけるためのものです。

世界を変えるアイデアと今日からできる行動を考えてみよう!



### Step 1

(5分)

普段の生活を思い出して、一日の主な行動を書いてみよう。  
(例 朝:ごはんを食べる、歯をみがく 昼:テレビを見る 夜:塾へ行く、お風呂に入るなど)

朝:
昼:
夜:

### Step 2

(10～15分)

右ページの17個のゴールに書かれた文章を読み、Step①で書いた自分の生活と照らし合わせて、どんなことに気づきましたか?

### Step 3

(20～30分)

Step②で気づいたことをグループで共有し、どうすればもっと良い世界にできるか、話し合ってアイデアを考えてみよう。

みんなで考えたアイデア	
自分が考えたアイデア	

3つのキーワードを思い出してね!



### Step 4

(10分)

きみが今日からできることを考えて書いてみよう。  
※世界中のみんなが幸せになるために、これから行動していきたいこと、やってみたいこと。

## 17のゴールから世界の現状を知ろう!



世界人口の10人に1人が1日1ドル90セントという国際貧困ライン未満で暮らしている。



全世界で約8億人、世界人口でみると9人に1人が栄養不足におちいつている。



現在も毎年500万人以上の子どもが5歳の誕生日になる前に命を落としている。



世界では読み書きができない5歳以上の子どもが約7億人もいて、その3分の2が女の子だ。



世界には女性のパートナーが働くことを禁止できる国が18カ国ある。



世界人口の10人に3人が、安全に管理された飲料水を利用することができない状況にある。



世界では12億をこえる人々が電気を使えない暮らしをしている。



日本では「働きすぎ」が問題になる一方で、途上国では「働くことができない」ことが問題となっている。



多くの途上国では道路や電力、水道といった基礎インフラが整備されていない。



世界の富裕層の子どもに比べ、途上国の子どもは5歳未満で死亡する確率が3倍も高い。



2030年までに世界の都市人口は現在の35億人から50億人に達するといわれている。人が増えると生活環境や公衆衛生にも大きな影響が出る。



世界では大量のエネルギーを消費し、資源を使って多くの食品を生産する一方で、毎日大量の食品が廃棄されている。



地球の平均気温が1度上がるごとに穀物の収穫量は約5%ずつ減少してしまう。



世界中の海の中にはマイクロプラスチックが大量に浮遊していて生態系をこわしている。



干ばつと砂漠化によって、東京都の55倍にあたる1,200万ヘクタールの土地が毎年失われている。これは1年で2,000万トンの穀物が栽培できる面積だ。



途上国では組織的犯罪も多く、窃盗や脱税は年間1兆2,600億ドルにもおよぶ。



すべての人たちが国や地域、国内、地方などで、得意分野を活かして協力することで17個の目標達成を目指している。

未来のためにどんな行動ができるかな?

